

Bibliothèque numérique

medic@

**Paré, Ambroise / Irako, Mitsuaki (éd.).
Geka kinm? zui / R? Mitsuaki K?haku
kantei ; Den Takanobu Sh?an, Ka
Norimitsu Y?ji d?k?**

Kyoto : Hayashi S?b? hakk?, Meiwa 6, 1769.

Cote : NLM: WZ 260 G320 1769

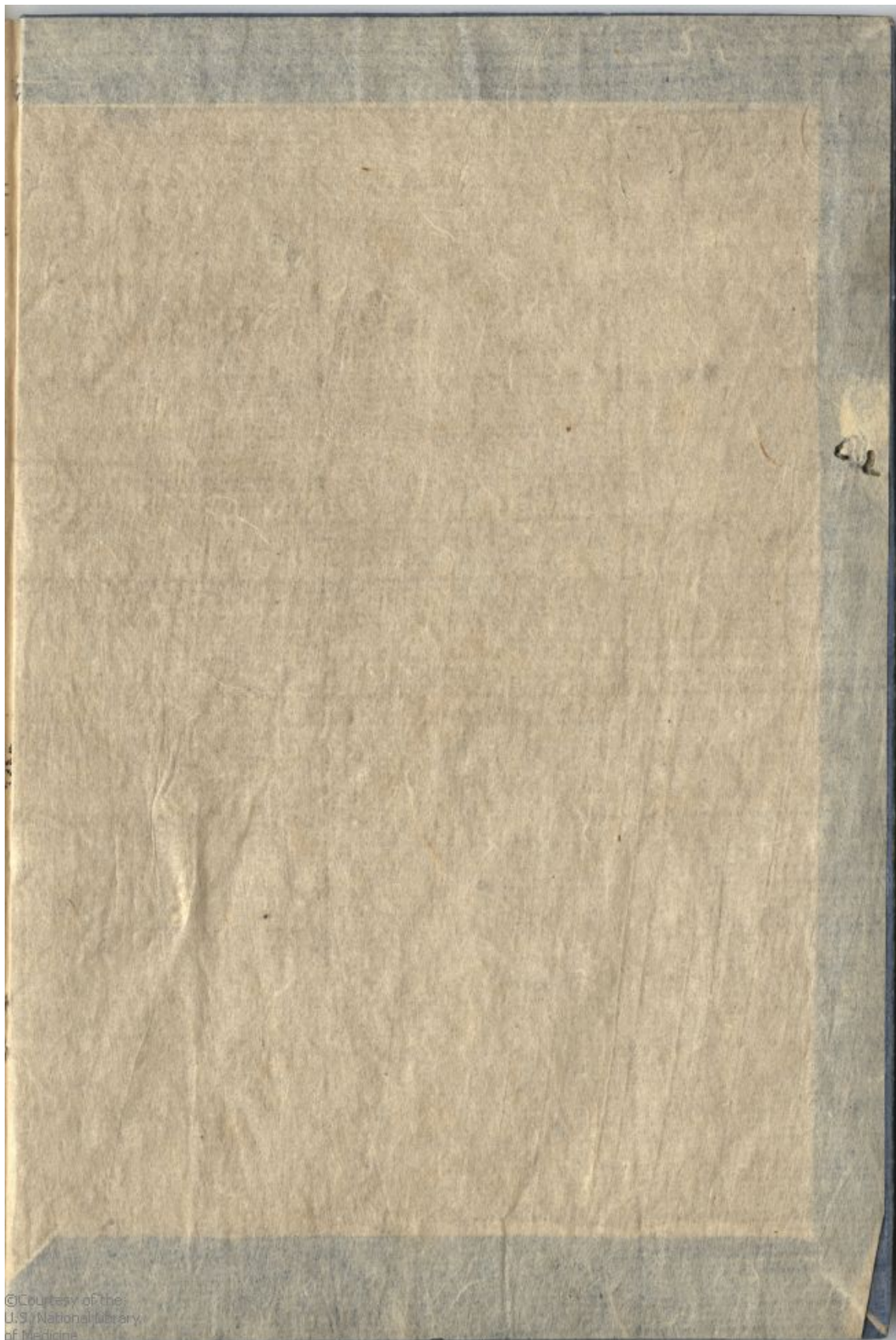


Document appartenant aux collections de la National
Library of Medicine (Bethesda, USA)
Adresse permanente : <http://www.bium.univ-paris5.fr/hist/med/medica/cote?extnlmwz260g3201769x02>

金創
必授

外科訓蒙圖彙

下



©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine

Heller 16 May 52

外科訓蒙圖彙卷之下

伏水 郎光顯孝伯鑒定

門人

平安 滕文傑 淳庵
淡海 谷玄啓 士雅

全校

○腹腋之部

腹ノ疵臟腑ニアタリタルハ難治トス○胃ノ腑ニ
アタリタルハ血津液ニマヂリ出ツ或ハ飲食共
疵口ヨリ出テ手足厥冷呃逆ス疵ハ鳩尾ノ下ニ
アリ○脾ノ臟ニ中ル疵ハ血ノ色紫黒ナリ疵ハ
右ノ腋下ニアリ○肝ノ臟ニ中ル疵ハ血ノ色深
紅ニシテ少シ粘リアリ疵ハ乳下ニアリ○

52 / 371

腎ノ臟ニ中ル疵ハ血ノ色淡紅疵ハ背ノ十四推

ニアリ ○小腸ノ腑ニ中ル疵ハ臍ノ左ノ脇ニア

リ 按ルニ嚮ニ平安ノ山脇尚德子所著ノ臟志中ニ腸ニ大小ノ別ナキノ説ヲ舉

クノ觀臟ノ疎ナル推テ可知五葦先生ニ從テ屢バ金瘡出腸尿小腸ヲ泌

者ヲ觀ル後寶曆戊寅ノ年先生門人ノタメニ屍ヲ官ニ請テ伏水ノ平戸島ニ

於テ解之ヲ始テ腸ニ大小ノ別アルヲ觀又古書ノ不妄作ヲ識凡故ニ先生別ニ浣

腸論一編並ニ觀臟骨節ノ圖繪ヲ著述シ山脇佐野

二氏ノ正誤後學ノ惑ヲ解クニ刻近ニ成ル可購 ○大腸ノ腑ニ

アタリタル疵ハ口ヨリ尿ヲ出スモアリ疵ハ臍

ノ右ノ脇ニアリ ○膽ノ腑ハ肝ノ臟ノ少シ下ニ

アリ ○膀胱ノ腑ハ臍下ニアリ ○右ノ臟腑ニ少

ニテモ中リタル疵ハ難治トス然トモ大小腸ニ

中ル疵ハ生ヲ得ルヲアリ腸ノ縫様ノ傳三品ア

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

リ口授ニアラザレバ明辨シ難シニ
 腹ノ疝ハ腸モ出ズ淺ハ常ノ如ク療ジテ然ルベシ
 若突疝ニテ腸出テ疝口セバク成リ腸納リ難キ
 ハ先ツ燒酒ニ雞子白ヲ少シ加工温メ木綿ノ湯
 巾ニ五ツ六ツ程浸シ置取替腸ノ上ニ置温メテ
 先ツ疝口ニ指ヲ入レ指ノ入ル方ヘ徐徐ニ腸ヲ
 押シ入ルベシ若又出タル腸冷エ腸中ニ風ヲ含
 ミ腸腫脹シテ納リ難キハ腸ニ縫鍼ヲ六七箇所
 モ間ヲ置立テ腫ヲ消シテ後燒酒亦ハ前ニ記ス
 ローズワートルヲ温メ湯巾ニ浸シ腸ニアテ腸

外科書卷之五
 疝

©Courtesy of the
 U.S. National Library
 of Medicine

温リタルトキ静ニ納ムベシ右ノ手法ニテモ腸
 納リ難キトキハ疵口ヲ切りヒロゲ腸ヲ納メ縫
 ベシ譬バ疵横ニアラバ原疵切斷スベキ所 豎ニ圖ノ如ク
 疵口ヲ切り廣ゲ腸ヲ納メ縫ベシ又疵口廣クシ
 テ腸納リ難キハ先ツ脇ヲ縫ヒ疵口ヲセバメ置
 テ焼酒ニテ腸ヲ温メ前ノ如キ手法ニテ納ムベ
 シ亦ラ脂膜ヲ云メトムト云腸ニ風邪アタル時ハ黒色
 ニ變スルモノナリ此ノ腐腸ヲ其マ、押入レ療
 ズル時ハ腹中痛ニ強ク甚難治トナリ愈カヌル
 モノナリ故ニ腐腸アラバ切り去テ療法手段ヲ

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

加フベシ手法ハ先ツヲメントムノモトノ方色
ヨキ処ヲ麻條ニテク、リ黒色盡ル処ヨリ切り
除キ腸ハク、リタル儘ニテ腹内ニ納メ糸ノ端
ヲ外ニ出シ置常ノ金瘡ノ如ク縫ヒ療治シテ疵
口愈テ後内ノ糸ヲモ抜取ベシ右腸ノク、リ様
ニ口訣アリ
腸大槩納リ少シ残り納リ難キ時ハ醫者ノ指ニテ
腸ヲスゴキ内ノ穢物ヲ腸中ニスゴキ入レ残り
タル腸ノ穢物ナキ様ニシテ納ムベシ尤腸ヲ納
ル法ハ患者ノ氣息ニ從ヒ納ムベシ右ノ如クニ

手段ヲ用テ納リ難キ者ハ甚危シ腸納リテ後ノ
 法ハ總論ニ記ス如ク常法ヲ用テ可ナリ内服ハ
 獨參湯其餘補氣養血ノ劑ヲ施スベシ又腸ニ疝
 付タル者ハ難治ト雖トモ一寸以下ノ疝ハ腸ヲ
 縫ヒ療ゼバ生ヲ得ル支アルベシ總テ腸中ニヘ
 ン膜ノ名サクト云膜アリテ五臟六腑ヲ直ニ絡フナリ
 腸ノ疝ヲ縫トキハ此ヘンサクニ鍼ヲ掛ケ縫ヒ
 様ハ先ツ糸ニセイラニレイラヲヒキ曲鍼ヲ以
 テマツヒ縫ニシテ
 其縫糸ノ兩
 端ヲ皮膚ノ外ニ出
 シ置皮ハ常



右ニ味酒水等分ニ入煎シ查ヲ去リ温メ腸ヲ洗
ベシ

腋ノ疵ハ手ノ厥陰經ノ分野アイダノ運行ヲ主ル所ナル
ガ故ニ血散走シテヤミ難キ夏アリ其淺深ヲ考
エ切疵ハ前ノ總論中ニ記ヌ如ク療シテヨシ亦
突疵ニテ血散走セバ燒酒ニテ洗ベシ法ノ如ニ
シテ血止ガル時ハ奥ノ惣身之部ニ出ヌ血止ノ
藥ヲ用ユベシ總テ突疵ハ縫ヌガ手段ノマツナ
リ誤テ縫トキハ瘀血壅滯シテ痛ヲ大ニ患者氣
疲倦スルモノナリ

然トモ按ニ此ノ説又有不然ノ總テ疵ノ淺深
經脈ノ運動スル所ニヨルベシ一際ニ不縫ヲ以テ突

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

痲ノ主要ト成レ難シ只胸腹ノ突痲ニ限ルベシ
 四肢ノ突痲ハ續筋ノ法ヲ用テ悉ク縫テ然ルベシ 血止テ後附藥ハ刈
 ヲリヨイツヘリコシ或ハテレメンテイナ或ハ
 ハルサムタルヒンテイナ此三品ノウ子ヲ撰三
 ヲウヒキキメイチヤニ浸シ痲口ニ指シ蓋膏藥卷
 木綿等前ノ法ニ同シ尤内服瘀血ヲ消散シ肌肉
 ヲ生スルノ劑ヲ施スベシ

款○腰脇之部 血止テハ痲ハ生ラズ
 腰脇ノ痲脊十四椎命門ノ俞兩ノ内股橫骨ノ邊ニ
 中ル痲ハ何レモ難治トス然トモ淺痲ハ生ヲ得
 ベシ其餘肉厚ク多氣多血ノ所ハ治シ易シ療法

ノ次第ハ具ニ前ノ總論中ニ見ユ
中○手足之部
手ノ疵皮膚バカリ切タルハ陰陽ノ二經ヲ不分別
燒酒ニテ洗ヒ縫合セ血止サル時ハ葱身ノ部ニ
記ス血止ノ藥ヲ付其餘ノ治法ハ前論ノ法ヲ用
ユベシ
手ノ三陽經ニ中リタル疵ハ假令骨皆切断シタリ
トモ三陰經サエ切レ離レガレバ治シ易シ療法
前ニ準フヘシ骨ノ兩端ノ切レ口ヨリ髓ヲ生シ
原ノ如ク平治スルモノナリ

手ノ疵腕ヲ切斷シ落タルハ先疵ノ真上ヘ血ノ強
ク出ル筋ヲ麻條ニテク、リ亦其腕ノ切口ノ上
ノ方ヲ三寸程間ヲ置軟絹條尺許ヲ以テ強クク
クリ締ヲホツシノ如ニシテ惣身之部ニ出ル血
止ノ藥ヲ右ノホツシニ塗り疵口ニ傳テ其上ヲ
又木綿ノホツシニテ蓋ヒ亦其上ヲ家猪ノ膀胱
ニテ蓋ヒ其膀胱ノ四邊ヲ糸ニテ柔ニク、リ其
上ニ木綿ヲ五重ニ疊アテ又其上ヲ木綿ヲ一尺
四方ニ切り四隅ニ細キヒモヲ付右疊木綿ノ上
ヲ蓋ヒ四隅ノヒモヲ腕ニ一ツシ結ビトメ其上

ヲ木綿ニテ卷木綿ノ端ヲ鍼ニテトメ置ベシ右
ノ如ニシテ四五日其儘ヲキ其後卷木綿四隅木
綿疊木綿猪ノ膀胱モ取除キ下ニ付タルホツシ
ニハ燒酒ヲ温メ和ケ徐徐ニ取り除キ其下ノ血
止ノ藥ハ其儘ヲキ亦其上ニ血止ノ藥ヲ付六日
又ニハ上卷木綿ヨリ下ニアル猪ノ膀胱マテ取
其下ノ血止ノ藥ハ右ノ如ク燒酒ヲ温メ浸シ和
ケ取除キ貼藥ハホツシニテキステービヲ塗り
疵口ニ付蓋ヒ膏藥ハデベンスイブシヲ木綿ニ
キ人ベ其上ヲ冬ハ猪ノ膀胱ニテ蓋ヒ上ヲ木綿ニ

テ厚ク卷ヲク夏ハ木綿バカリニテ卷置テヨシ
然トモ患者雖活廢人タルノミ

手ノ三陰經ニ中リ骨皆切斷シテ三陽ノ方皮膚バ
カリ續キアルヲ押テ縫トキハ疵口ヨリ血散走
シ亦ハ腐爛シテ難治ト成患者ノ元氣モ虚脱シ
テ不治ノ症トナル故ニ三陰經ノ疵ハ三陽ノ續
キタル皮膚ヲ切斷シテ右ニ記ス腕ヲ切タル時
テ治法ニスベシ尤三陰經ノ疵タリトモ淺疵ハ
其前ノ總論中ニ出ス療法ヲ施シテヨシ手ノ三陰
經心肺ニ属スル故脱血多キモノナリ醫者心得

有ベシ

足ノ疵膝ヨリ上ヲ切断シタルハ死ス膝以下ヲ切
断シタルハ前ノ腕ヲ切タル治法ノ如ニスベシ
餘ノ淺疵ハ總説ニ記ス如ニシテ可ナリ

手足療治ノ時ハ疵口ヲ下ニナラザル様ニスベシ
手ノ疵ハ頸ニ掛サセ或ハ蒲團ヲカサ子スエ置
ベシ足ノ疵ハ患者ヲ卧サセ疵アル足ヲ上ニナ
キシ其足ヲ圖ノ如ク掘入内ニ蒲團ヲシキ足ヲ并
シ少シアゲヌニシテ置ベシ

テ取ル巻ニ夏ハ木綿ハタリニテ巻置テ

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine



©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine

手足其餘共ニ高キヨリ墜骨節損傷種々ノ症アリ
 先圖ノ如ク手術ヲ以テ折骨或ハ脱臼ヲシテ
 シシロザアールムヲ塗り其上ニテヘンスイブ
 シヲ木綿ニノベ其上ヲ木綿ニ醋ロウズソト
 ル等分ニ合シ浸シ卷ニ日ハ其儘置其後毎日右
 ノ法ノ如ニスベシ内ニ保生湯獨參湯ヲアタユ
 ベシ或ハ折續散ヲ醋ニテ煉リ木綿ニ塗り患所
 ヲ卷置ベシ此丸六味散他藥等ニ用ル可クイ
 折續散之方 木綿拾指ニテ敷テハ折散ニ塗リ於テ

菟藿葉 二十五錢

黄蘗

崖椒葉 各廿錢

白芷

白芷 三錢

右四味為細末好醋ニテ煉或ハ傷所ニ塗り紙ヲ以テ掩之蓋此方攝州難波邑ニ用ル方ト同シ

ハシ志ハ添餘者ハ醋ニテ練リ木綿ニ塗り蓋リ紙ヲ以テ掩之

ハシ志ハ添餘者ハ醋ニテ練リ木綿ニ塗り蓋リ紙ヲ以テ掩之

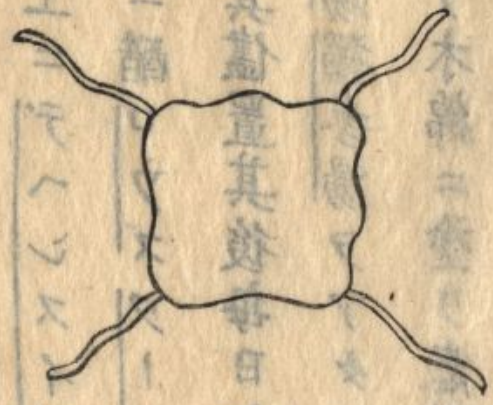
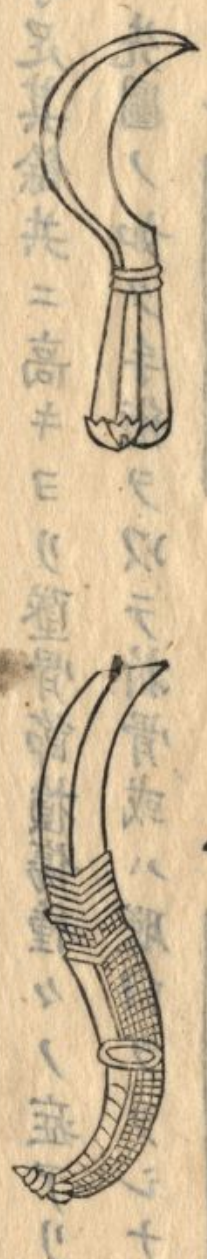
ハシ志ハ添餘者ハ醋ニテ練リ木綿ニ塗り蓋リ紙ヲ以テ掩之

ハシ志ハ添餘者ハ醋ニテ練リ木綿ニ塗り蓋リ紙ヲ以テ掩之

ハシ志ハ添餘者ハ醋ニテ練リ木綿ニ塗り蓋リ紙ヲ以テ掩之

ハシ志ハ添餘者ハ醋ニテ練リ木綿ニ塗り蓋リ紙ヲ以テ掩之

ハシ志ハ添餘者ハ醋ニテ練リ木綿ニ塗り蓋リ紙ヲ以テ掩之



©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

六斗問答圖景

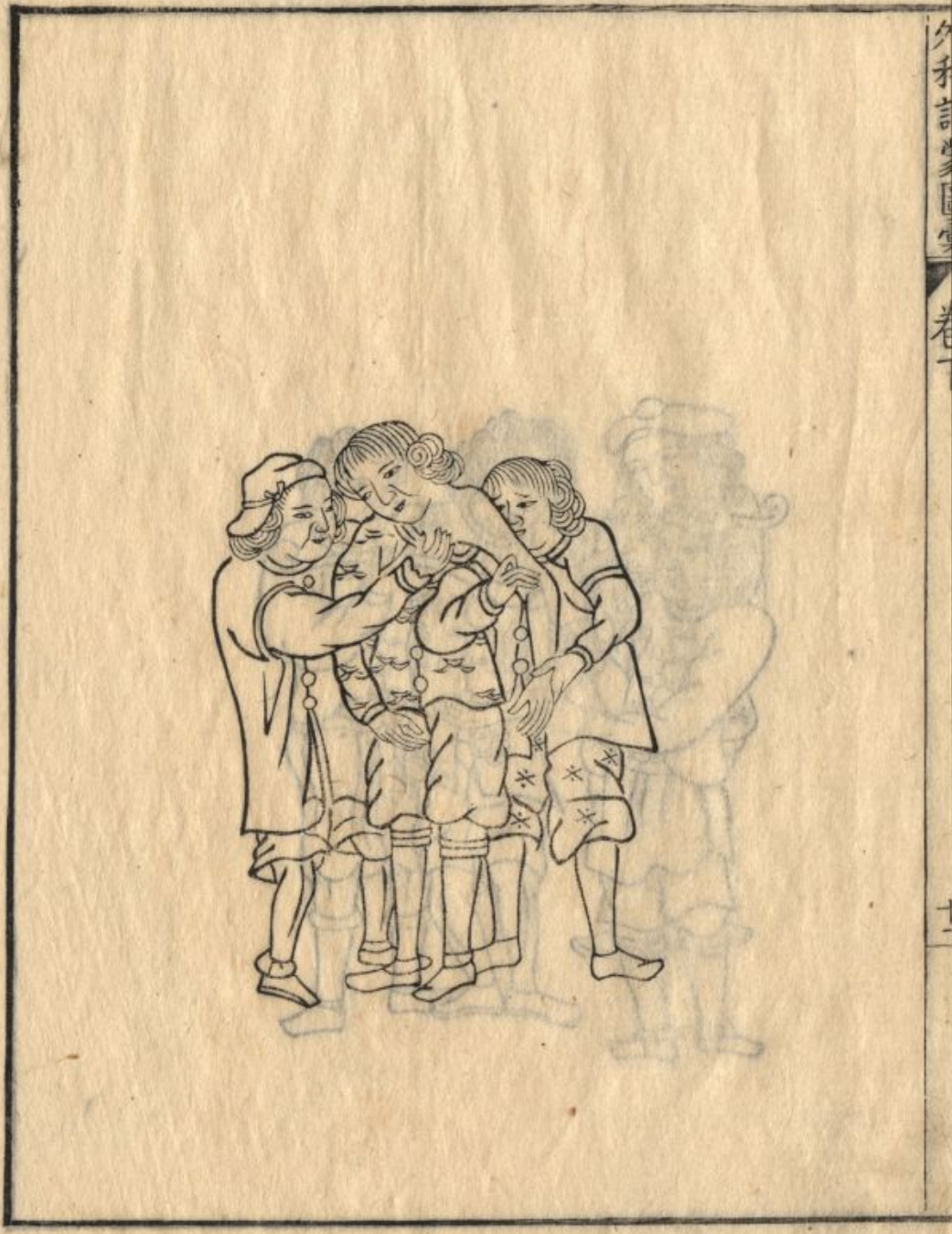
六八



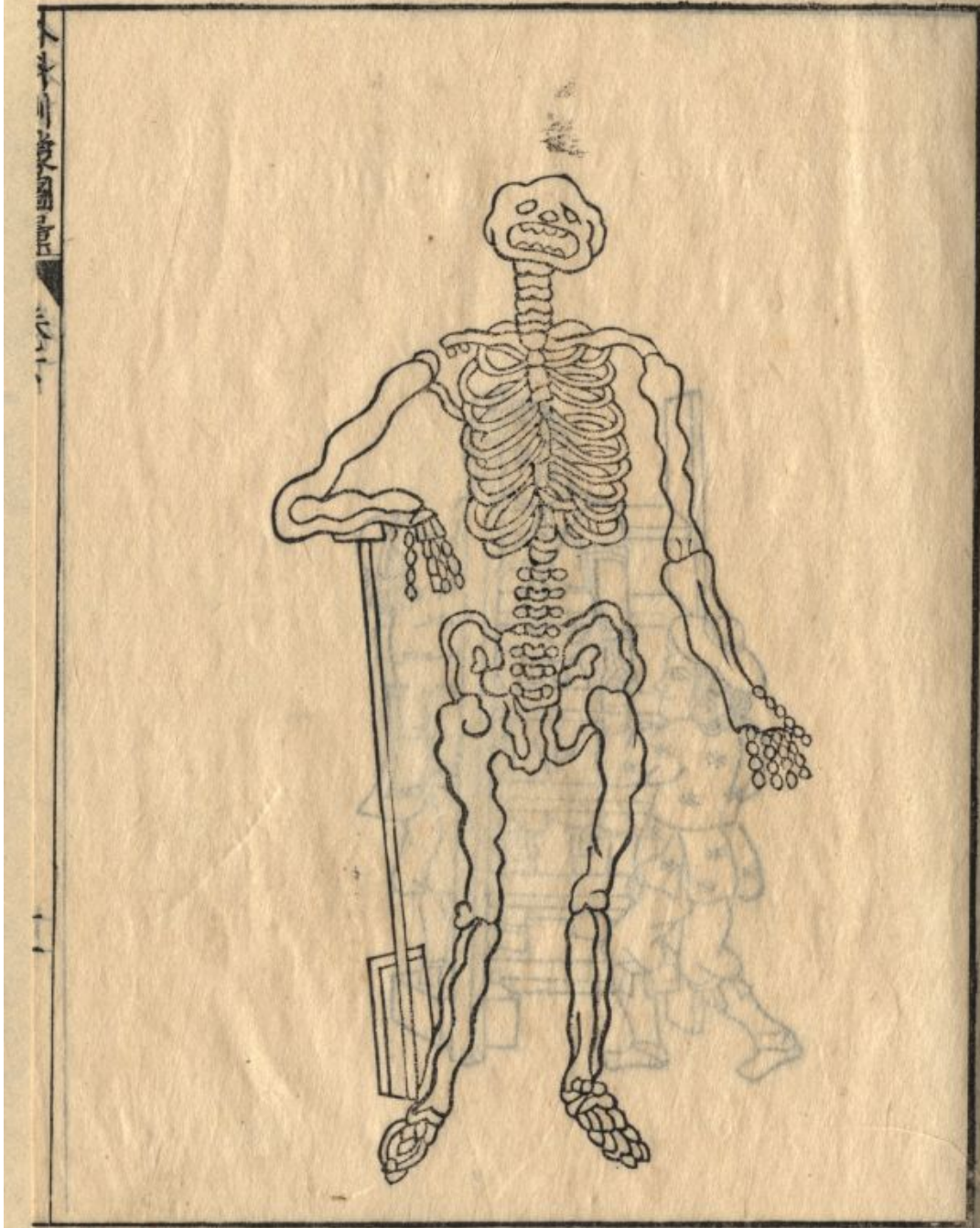
©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine

九

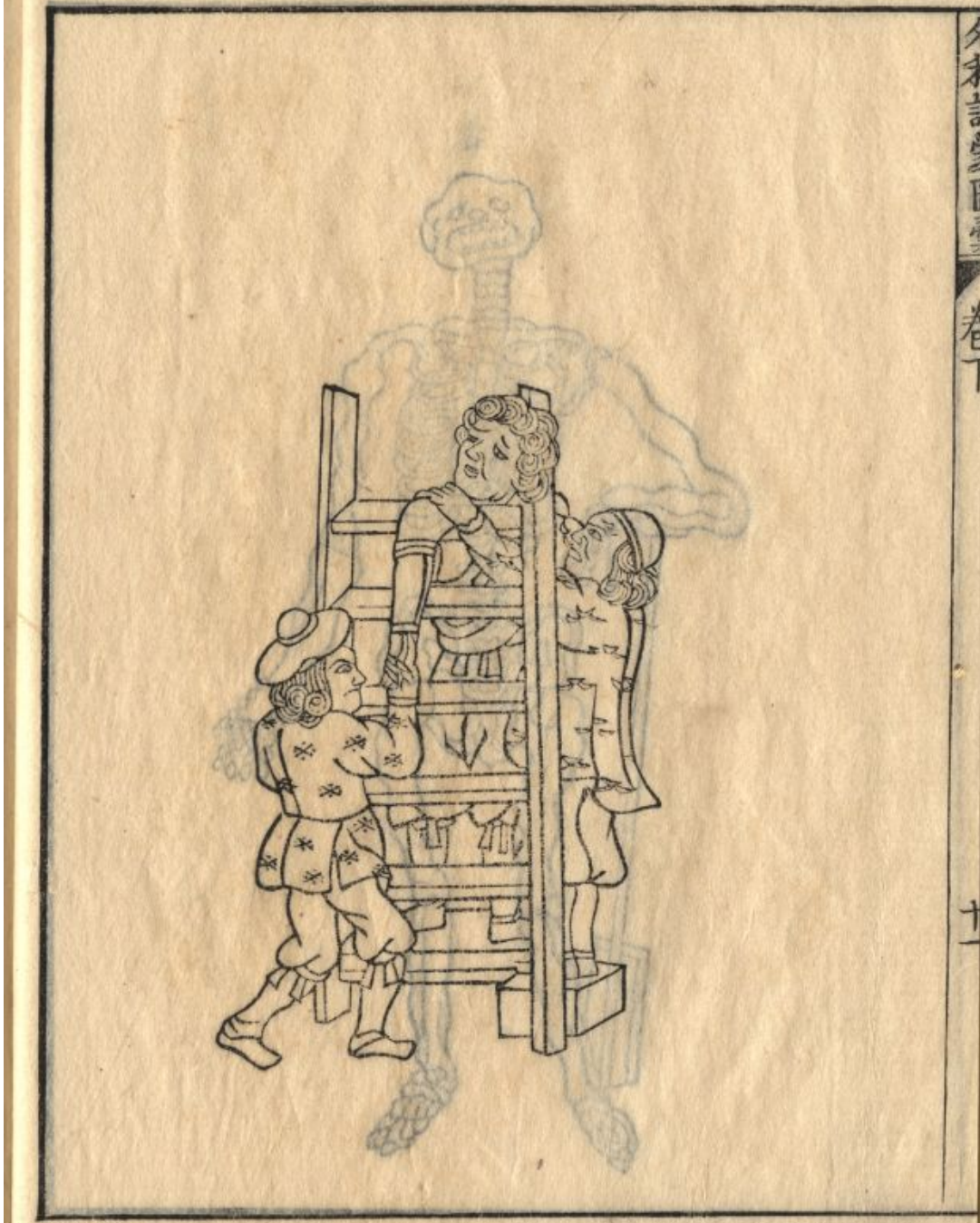
夕手言... 卷一



©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine



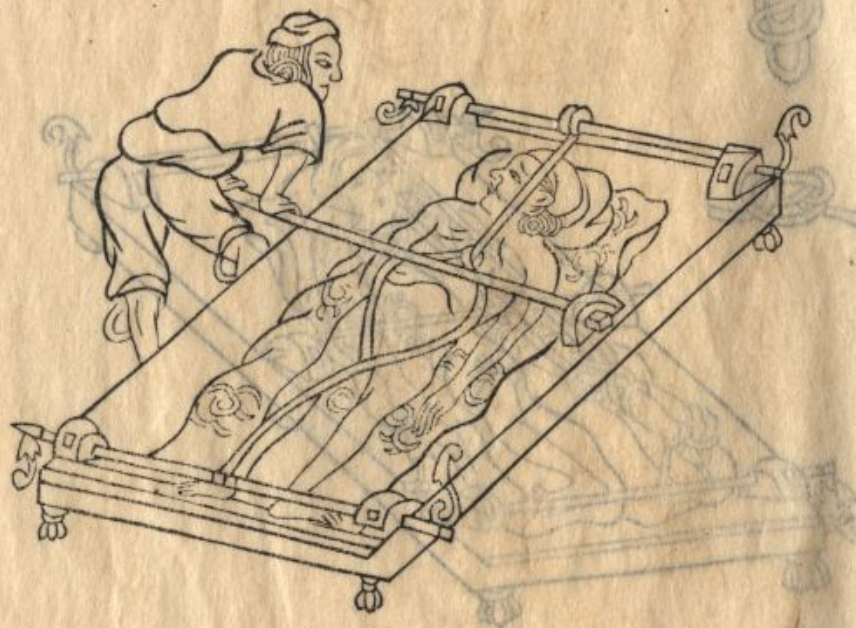
©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



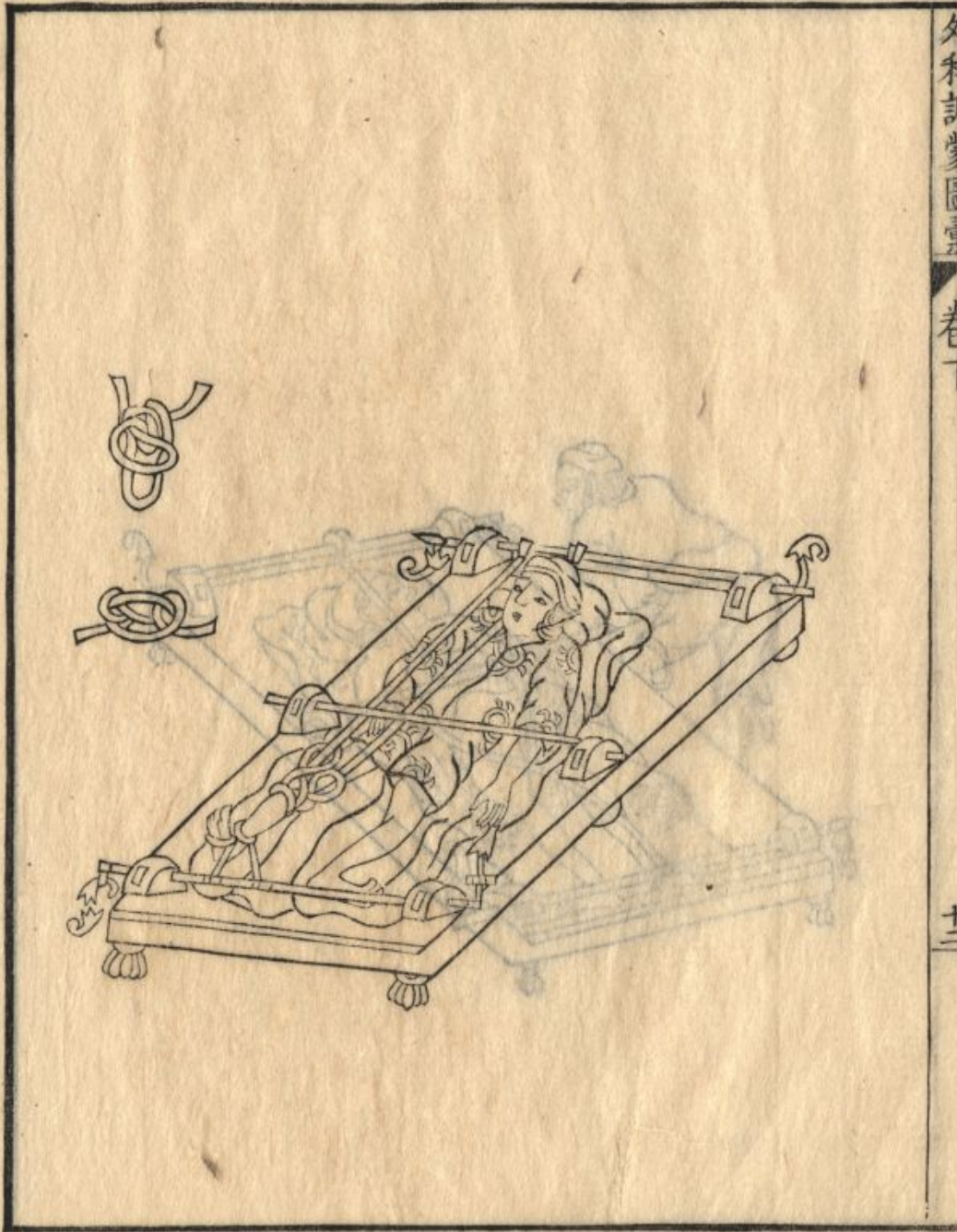
外科書目録
卷下

十一

Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine

佛井狼レ機ヒ銃ヤ鳥テ銃ッ並ボウ箭ボウ疵等胸腹背ニアタリ臟腑ニ疵

ツキタルハ治シ難シ譬バ佛狼機井石子シ手ノ尺澤

ヨリ末ニアタリタルニハ先ツ腕ノウエノ方ヲ

麻ア繩ナフニテ強クク、リ又臂ノ下ノ方ヲ疵ヨリ一

ニ寸程間ヲ置外治器ノ名コロシメツスト云曲刀ニテ尺澤

ノ上二三寸程除キ皮内ヲ骨際ギマデ陽經ノ方ヨ

リ切廻シサテ小腕ノ骨二條アリ其骨ノ間ニ肉

アルヲ先骨ヲ前ノ圖ノ如ク小刀ニテ内ヲ切其

後鋸ニテ骨ヲヒク敷亦ハ下ニ枕ウノ如キ木ヲア

テヲキ切キ断ハチシ止血ノ藥其餘ハ前ノ手足治方ニ

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

同シ鳥銃疵裏ラ表エ打貫タルハ两口ヨリ綿ム
 イチヤヲ指シ療治ヲ加フベシ亦鉛子深ク留リ
 アラバ圖ニ出ス如ク術具ニテ抜トルベシ又ト
 リテモ出ザルニハ其終療シテモ苦シカラズ亦
 疵深ク後ニ貫テ鉛子皮肉ノ間ニアルハ其アル
 所ノ疵ノ正中（正ナカ）ヲキリヒラキ鉛子ヲ出シ療スベ
 シ亦サモナキハ先サグリヲ入淺深ヲ考エ（器名）タ
 マキニテ鉛子ヲ取出シ燒酒ヲ温メ（俗ニ水吹ト云）火酒筒ニテ
 内ヲ洗ヒアトエインダエントデキステトビ（器名）
 ハヅリコム（寸）ニ味交合セ两口ヨリメイチヤニ

シテ刺ベシ上ニ鏡ヲ燒アテ疵ノ四邊ニヲハリ

「百合油ヲ云

ヨレリヨイロン或ハヲハリヨイツヘリコン塗

リ其上ニテヘシス井ブン或ハテヤハルマ或ハ

ガラサデ井ヤ等ヲ貼シ醋木綿墨木綿巻様等前

ノ法ノ如シテ佳ナリ惣テ鳥銃疵ハ血出ガルモ

ノナリ血ノ出ルヲ惡症ノ候トスナヲ奥ノ藥ヲ

考エ貼スベシニハ其外敷シマテ等シクハミテ赤

外貼之方

トタルヒニテイナハ名ハシリコンナ名

同ヒツテリヨウロニアル工井ニ名ヘレレビタアトルハ名

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

マステキス 各二錢 ヲリハローム 各二錢

ヲ、リヨイツヘリシ 四錢

右七味煉メイ子ヤニ塗り穴エサシ蓋膏藥テ、
ニスイブンヲ貼シ其上ヲ木綿ニテ巻ベン毎日
右ノ如ニ治法ヲ加ユベン肌肉大抵ミチタルト
キラウメンドニテ愈スヘシ

ラウメンド之方

フ「火酒ヲ云ラニトウイニ一鐘

「乳香ヲ云マステキス

「白薔薇花ヲ云メリロサーロム

各二錢 「没薬ヲ云メラ各二錢五分 アルウエイ

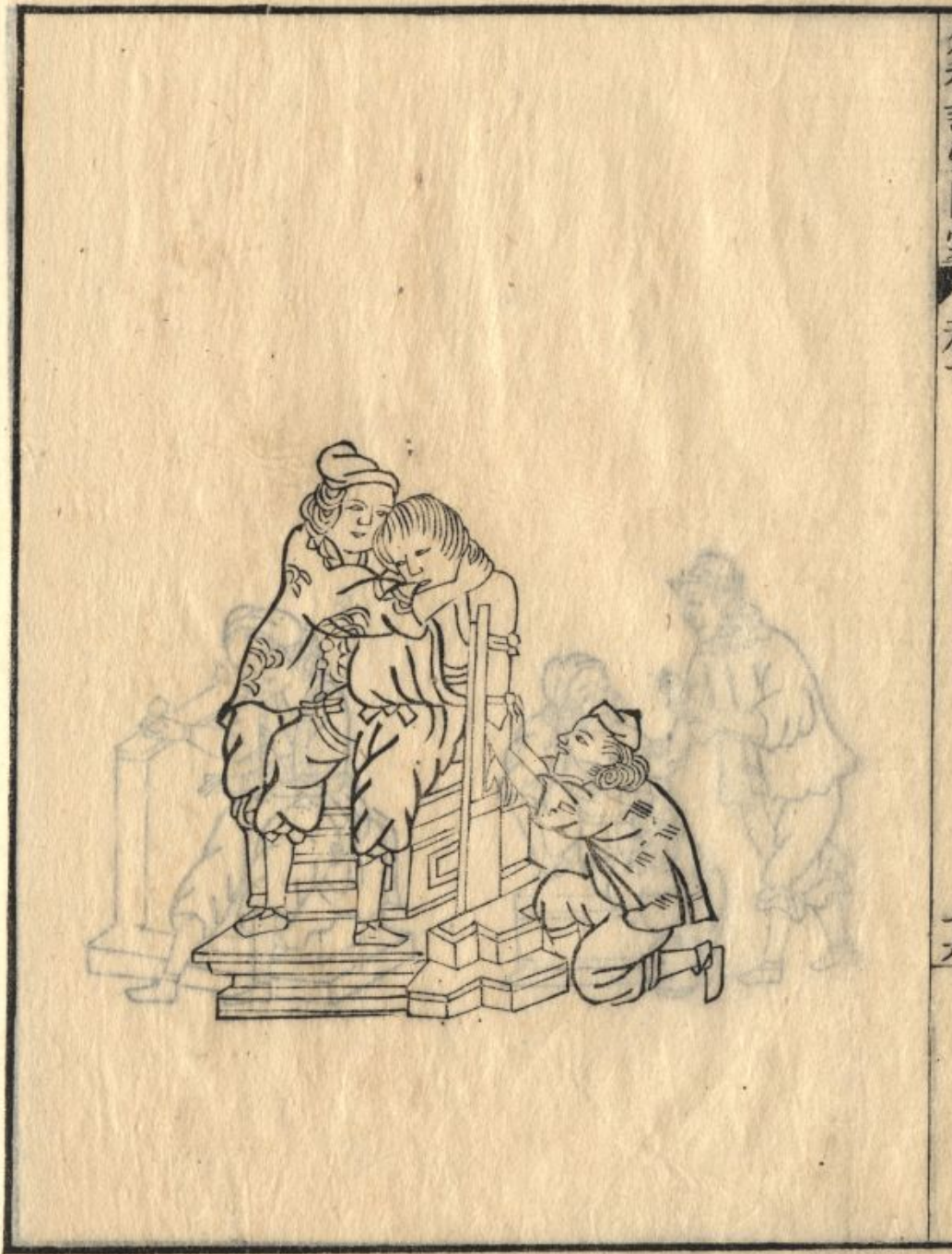
右微火ニテ煎シ布ニテ濾シ査ヲ去リ木綿ノ水

トキリ...

一五



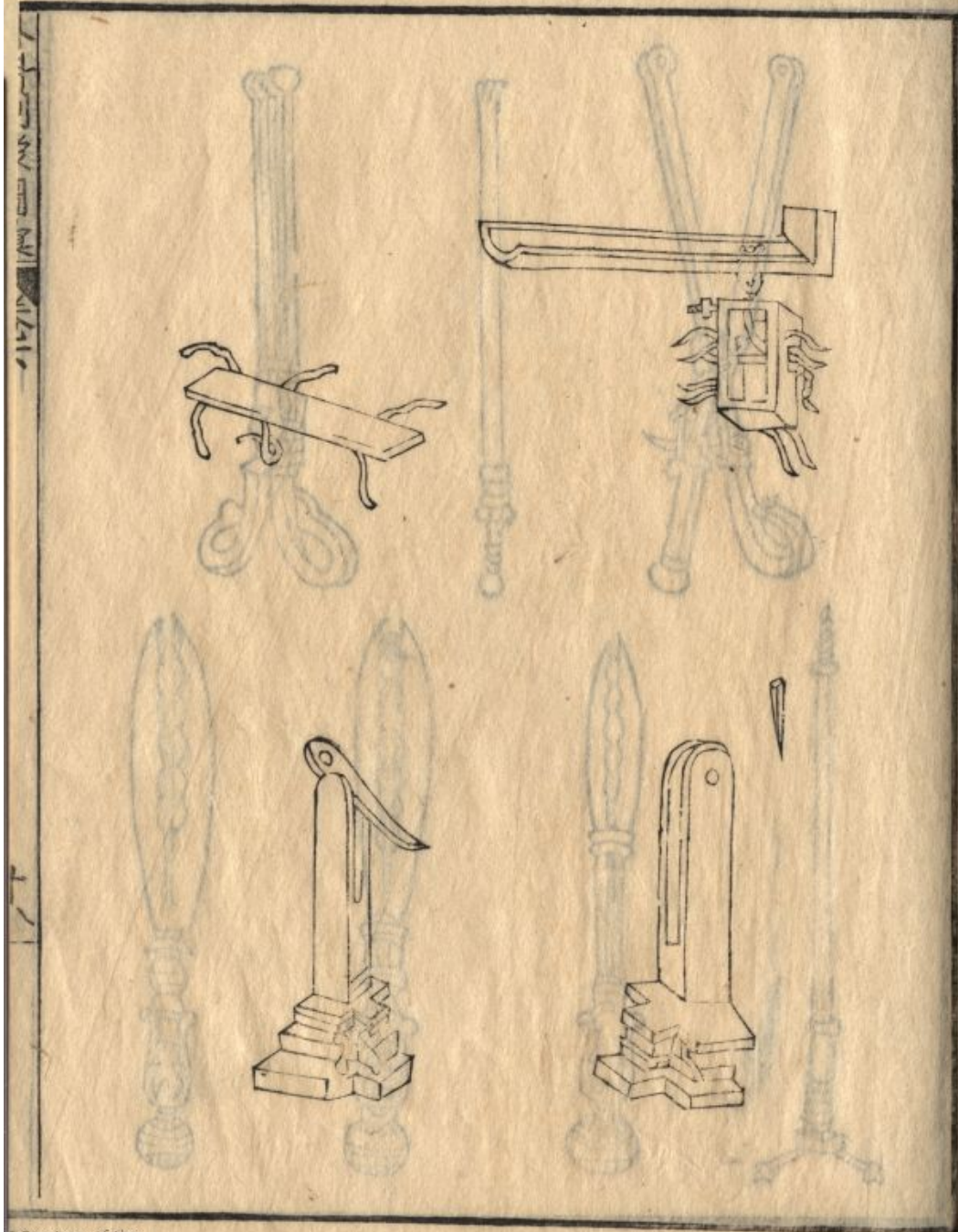
©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



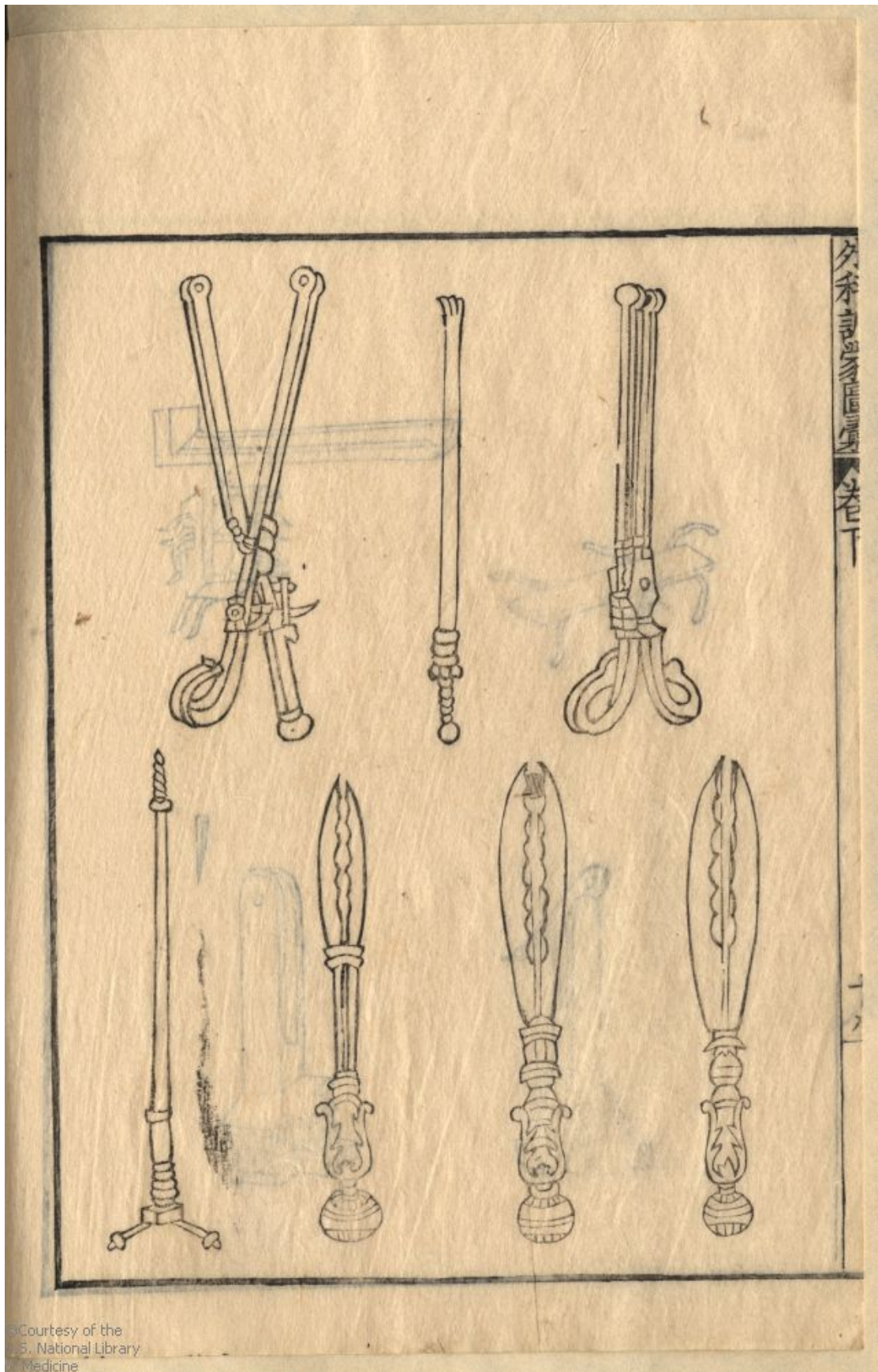
©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine

箭疵ハ手足トモ圖ノ如クシテ鏝ヲヌキトリノイ
 チヤニデキステービヲ塗リ穴ニサシツノウエ
 ニ奥ノ惣身ノ部ニ出ス止血ノ藥ヲホツシニ塗
 メイチヤノ上ニ蓋膏藥ホテント或ハカラサテ
 井ヤ赤ハデヘンス井ブン右三品ノウチヲ貼シ
 其ウエヲ木綿ニテ巻ヲクベシ





©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



Courtesy of the
National Library
Medicine

本草綱目卷之九



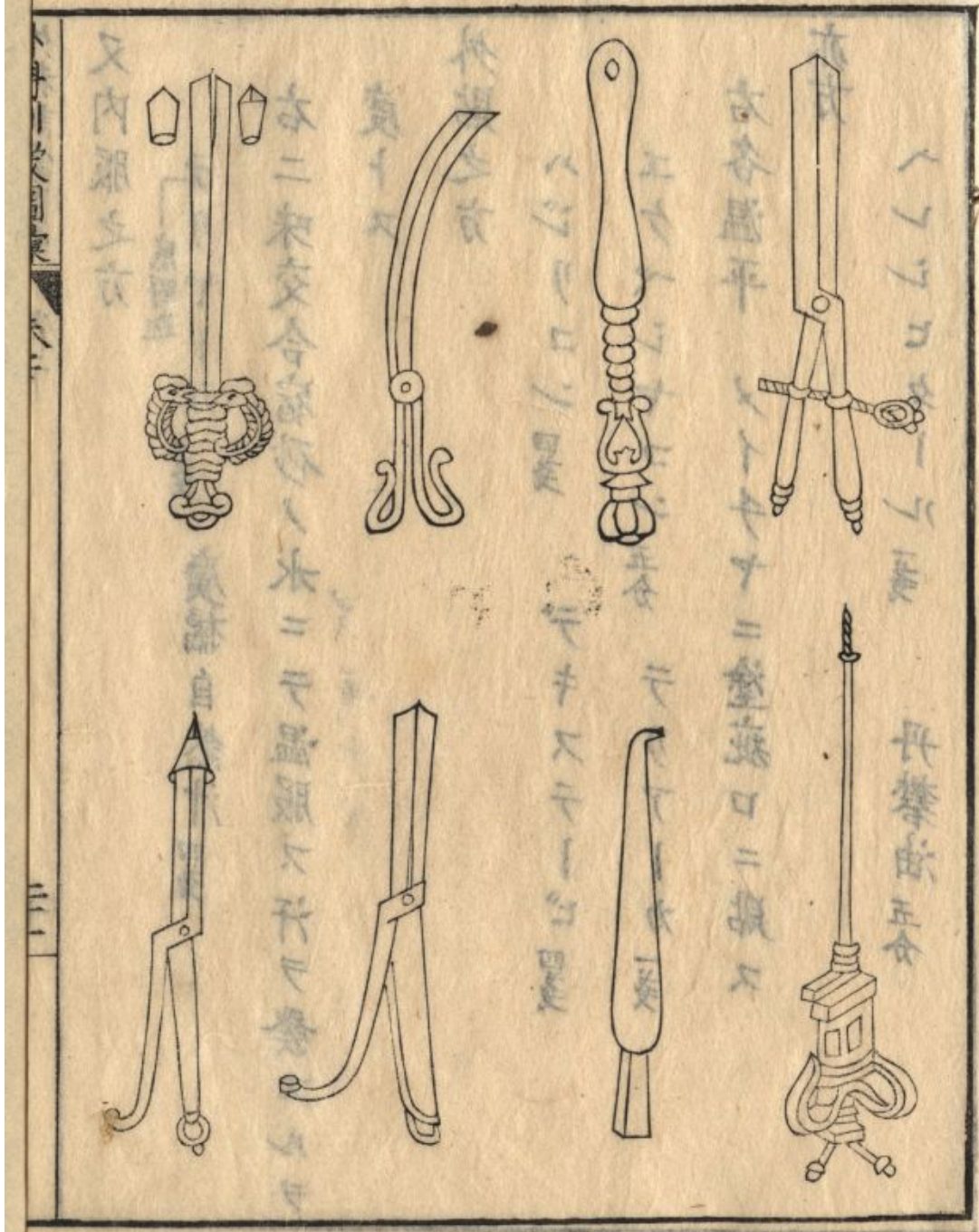
©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



Courtesy of the
National Library
of Medicine



© Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine



©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

又内服之方

テリヤカ 底野迦 一錢

廣橘自然汁 四錢

右二味交合宿砂ノ水ニテ温服ス汗ヲ發スルヲ

度トス

外貼之方

ハジリコン 四錢

デキステービ 四錢

エケベシヤコン 五分

テリアカ 一錢

右各温平 メイチヤニ塗疵口ニ貼ス

亦方

ヘレシヒタール 一錢

丹礬油 五分

Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

ユベシ

蒸藥之方

臭薷ヲ云

茵陳蒿草

小槐葉山豆根

鵲不踏木葉 各等分

右四味燒酒ニテ煮熟シ布ニ包患所ヲ蒸ス○亦

大蒜燒搗爛シテレメン井ナ少許加エ温メ紵布

ニ包疵ノ上ヲ蒸ス若膿出痛和ク者ハ前ノ療法

又ニ準スベシヤリハ林國ハ毒陰ニ專用ニ好ニ毒

○摠身之部 ホヅニ長シ根ス

摠シテ人身ニゼイヌント云經アツテ十二經ノ紀

原ニシテ手足九竅ノ分野ノ運動ヲ主ル然ルニ
此ゼイヌン經ニ少ニテモ疵アタルトキハ愈難
シ此經ノ背少シキレタルハ奥ニ出ス藥方ニテ
療ゼハ經ノ兩端ノ切口ヨリ肌肉ヲ生シ氣血ヲ
通シテ恙ナカルベシ亦此ゼイヌンノ片端ヲキ
リタル時ハゼイヌンヲ鉸ニテ切斷シテ奥ノ療
法ニスベシキラズシテ治スルトキハ不日ニ腐
骨髓ニイリ不治ノ症トナル可恐トス然モ醫者
其術ニ不精シテ倉卒ニ肉ヲ切斷ゼハ所ハ謂ハ技ハ究ハ
ムルニ至ルベシ

手足或指ナドノ骨節マテ腐ルハ節ノウエノ方ヨ
リキルベシ節ヲキレハ肌肉ニツルコト遅シ故
ニスコシウエヲ切テヨシ

ゼイヌン經ノ數總テ七十四アリスエノ經絡ハ其
數シレズ此七十四經ニアタル疵ヲ尤難治トス
其他ノ末經ニ至テハ難治トスルニ不足

和蘭人骨度論ニ曰ゼイヌン經十四ハ頭骨ノ三ツ
ノ合メヨリ出テ上七竅ヲ主ル下ノ六十八大椎
ヨリ尾骶ニ至リ兩傍ニ分チ行ク中ノ三十八五
臟六腑及ヒ兩手ノ屈伸ヲ主ル下ノ三十八腰間

及ヒ兩足ノ運動ヲ主ル總テ七十四經ナリ是其
大槩ヲ云モノナリ
ゼイ又ニニアタリタル疵破傷トナリ腐爛シテ患
者發熱疼痛懺慄反張スルモノニハ先ヲ、リヨ
タルヒンテイナ或ハヲ、リヨセイテ或ハヲ、
リヨイツヘレン或ハバルサムコツハルイーヘ
或ハバルサムヘルベヤーム或ハバルサムタル
ヒンテイナ此七方ノウチライヅレニテモ少温
メ疵ノ内ニ納メ亦柔ナルメイチヤニ浸シ疵ニ
サシ蓋膏藥デヘンスイブンヲツケ上ヲ木綿ニ

テ法ノ如卷ヘシ如此シテモ熱モ不退痛モ不止
トキハハツパスヲメイチヤノウエニ貼スベシ
パツパス之方

「蓋フ云」

フロウリス

「野菊ヲ云」

「代ニ飛白糲ヲ用ユ」

ホロウト
各拾莖

「泊夫藍ヲ云」

コロクスヲリエシタリ井

二莖

右三味乳汁ヲ加工微火ニテ糊ノ如ク煉リ鍋ヲ
ヲロシ雞子黄白トモニ加ヨクマセ合シ木綿ニ
厚ク塗り温ナルヲ右メイチヤノ上ニ貼シ其上
ヲ木綿ニテ卷ベシ右ノ如シテ瘡口ヨリ黄水出
ルコトアラハ粉藥ヲ用テヨシ十四日経テ其

粉藥之方

内ホウルスアルメーニヤ代ニ伏竜肝ヲ用ユ一錢半

杉實一錢 イニコスタラヨウス

セイモン劉寄奴ヲ云イツヘレシ各四錢

右四味細末ニシテ疵ニフリカケテヨシ疵深キ
ハデキステイビニマゼメ井チャニ塗り指ベシ
或ハブラントウインニマゼ温メ火酒筒ミヅニテ内
ヲ洗ヒ亦メ井チャニモ浸シ指モヨシ其上ニア
ハクワニキラセンヒライキスヲ木綿ニ浸シ卷
ヲクベシ黄水止タルトキハデキステービニテ

肌肉ヲ生シ愈スベシ

右ノセイヌン經ヲ毒蛇及諸獸毒魚ノ類叮咬シ疼

痛不可忍シテ腐爛甚シク熱ツヨク漸々ニ黒ク

腐テ毒氣内攻スルコトアリ急ニ腐ノ大小ニ隨

ヒ切斷キリノ法前ノ手足ノ部ニ記ス如キノ法ニ從

テ療スベシ切斷稍遲キトキハ毒氣衝心悶亂シ

テ不救ノ症トナル尤恐ルヘシ

金創一切止血之要方

内服之方 治諸金瘡脫血及血暈等之症

ラ白焰硝燒返アヒスヘルナル 一錢

ラ阿片ア夕ア夕ノムヲツヒヤナム 七厘

天衣龍腦ヲ云カニフル三厘ア蒲萄酒ヲ云、クワフランタアコニス一盞

右三味ヲ細末ニシテフランタアコニスト共ニ車前水ノ内エイレ服ス

外敷止血之方

赤蘆薈ヲ云カルエ

没没藥ヲ云メラ

玉玉乳香ヲ云ステキス

貨貨汗ヲ云モミイ

石石灰ヲ云イビンテキカルコ

各三錢

本本ヘレシビタール八錢

右細末ニシテ鷄子清ニ和シホツシニ塗り疵ノ

上ニ貼スベシ

赤方

カル石灰ヲ云スヒイペイ 四十八錢

ホウル伏竜肝ヲ用ユスアルメニヤ 三十四錢

カア丹若粉ホテモルトン 三十二錢

タイ血蝨ヲ云ラセケラアタ 八錢

ハア兔ノ腹毛ヲ云スニハアルハニテブイキ 九錢

右細末兔腹毛雞子白マゼ合セホツシニ浸シ疵

ノロニ貼ス

亦方

棣棠花

芙蓉花

躑躅花

車地衣 各等分 エトノ眼ス

右四味細末ニシテ疵ニフリカケテヨシト先ニ

又方 又方 又方

蒲黃 熱厥 一血 各等分

為細末シテ用

又方

朝生暮落草

陰乾

為末疵所ニ貼シ血トニル

治湯火傷之方

石灰

椰子油

右石灰ヲ極末トナシ椰子油ヲ少シ加ヨクスリ

スツテリトニノ如ニ成タルヲ塗ベシ

又方

石^{ガホン} 白蜜

白蜜

右ニ味イニングエントノ加減ニ煉貼ベシ

火傷火毒深ク皮肉黒腐スルモノハ板刀ラセイタヲ以テ破

リ瘀血ヲ出シバシリニヘレシビタールヲ加エ

發糸ホツシニ塗貼上ニテベンス井ブニヲ貼シ腐肉去

テノチイニングエントアトストム或ハカンフラ

ール等ヲ貼シテ愈スベシ

焰硝火藥ニテ傷ラル、者ニハ

酪酥カクソヲ云
ボウトル三十錢 車前水ニスリ交セ水ヲ去リ

雞蛋八錢ヲ加エスリ合セ疵ノ上ニ塗效驗速ナリ

其上ニ燒酒一升ニ樟腦十五錢 硝子ワラソコノ器ニ納密

封スルコト五七日トリ出シ木綿ニ浸シ患所ヲ

卷ヲクハシニ

ニ

ニ

ニ

○膏藥之部

イニクエントテキステ井ビ之方

レシホンヲ、リヨ 二百七十錢

タルヒンテイニ 百四十錢

ヲリワアスニ 六錢

右油蠟篤耨ノ三味ヲ銅鍋ニイレ煎溶シ鍋ヲ下

シ布ニテ濾シ查ヲ去殘ル藥味ヲ加工煉用ユ○

性温諸腫潰後肌肉ヲ生シ能愈スヲ妙トス金瘡

ラツトウカ 「葛苳葉」

レハツラアトロン 「龍葵葉」

ヘレハヲンヒリイチヘイ子レス 「名絲蔓亦代ニ馬齒莧ヲ用ユ」

ハツハアフラス 「嬰粟葉」

セニアアロンドウビイ 「懸鈎葉」

ヘレハヒヨウロン 「小槐葉山豆根葉」 各二撮

セシヒロヒイハニヨウル 「霸王樹葉」 四撮

セイラ 「蠟」 少許

右十味搗爛拌置タル前ハニ味ト合シ又葡萄酒ヲ見合セ加工鍋内ニ納煉布ニテ濾シ渣ヲ去リ用ユ○性寒、諸痛ヲ止メ並脚氣筋攣ヲ主ル

イシクエントスツテリトシ之方

リツタリキリヨム 「黃龍齒」

末セキ多

アズイ子 「酢」

ヲハリヨロザアロム

百五十多 「ニテ」

右リツダリギリヨムトアズイ子ニ味ヲ乳鉢ニ
 テ摺拌セ一昼夜ヲキ翌日別ノ器ニ上ノアズイ
 子バカリ滴ンテ下ニ井タル黄龍齒ヲ乳棒ニテ
 ヒタト研交ゼロザアロント右滴ミヲキタルア
 ズイ子ヲ少宛イレ能研交工用ユ○性寒一切ノ
 面病肺風粉刺酒鼓鼻及婦人面生黧黑班ヲ治ス
 ルニ神驗アリ並ニ足跟疼痛ヲ主ル

エシフラストテベンスイブン之方

- 「膽八樹子油
- レズホンスヲ、リヨ 二百錢
- 「篤耨樹脂
- タルヒニテイニ
- ワ蠟
- ス 二百五十錢
- 「玉乳香
- スステキス

外科明蒙圖集 卷下

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

ワリハアヌン

〔没薬〕 各二十錢

〔代ニ東壁土ヲ用ユ〕
ホウルスブレ 四十錢

〔杉實〕
シイフリレス

〔血竭〕
サニクスダラユウヌン 各八十錢
〔樞葉〕
セニライキスメルテロウルニ撮

右油ト蠟ト煎溶シ鍋ヲ下シ殘ル藥品ヲ細末ト

ナシ加エ煉法前ノ如スベシ○性冷主治瘀血ヲ

去ル故ニ專跌撲損傷及血瘤氣癭等ノ症ニヨロシ

エニフラストヘトウスカ之方

〔自然汁ヲ云〕
ソクスヘトウスカ

ソクスアス

〔茅苴草ノ水ヲ云〕
ソクスフランタアコ

〔代ニ乳香ヲ用ユ〕
コムエレム子

〔コアレメニテイナヲ云〕
コムタルヒシテイニ

〔杉脂〕
コルホウ子

右黄蘗ヲ云アルヲへ 四十錢

右後之四味ヲ煎シ溶シ殘ル三品ノ草ノ自然汁
ヲイレ水氣ノ去ルヲ度トス○性温主治打破レ
ザルノ瘀血ノ凝滯ヲ去其他頭面ノ諸瘡ニ效アリ

亦方

白芥葉アルトニシヤ 生 芥苳葉アラシタアコ 生 博落回葉アキリモウニヤ

右三品ノ自然汁各四百八十錢

鶻不踏花水アルソワシサズン 五十錢 杉脂アルホウニヤ 二百錢

タルヒニテイニ 百錢

右六味一度ニ鍋ニ納煎シ水氣ナク成タルトキ

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

マステキス 五十錢 蠟 セイアラルヲへ 六十錢 イレ煉加減

前ノ法ノ如スベシ ○性主治前方ト同シ

エンフラストデヤハルニデスリイトム之方

テヤハルニ 十六錢 ヲリヨロガアロム 四錢

車前草ノ水ヲ云 ア、クワフフランタアコ 二錢 蓄薇露ヲ云 ア、クワロガアロム 二錢

右テヤハルマヲ、リヨロサアロムノニ味ヲ鍋内ニイレ文

火ニテ煎溶シ火ヲ下シ少シ冷シ残ニ味ノ水ヲ

加エヨクマセ合セ用ユベシ ○封固主治ノ方

インクエントデヤホシイトス之方

人肉油 二十錢 即ホルトカル アゼトウナ 五十錢 黄蠟

©Courtesy of the J.S. National Library of Medicine

定粉 各三十錢

松香 十錢

乳香

沒藥 各四錢

右七味鍋内ニ納文火ヲ以テ煎シ火ヲ下シ研合
セ用ユ此膏テキヌテイヒノ代ニ用テヨシ一切
ノ金瘡ヲ主ルニ治ス
一切ノ金瘡愈テ後筋攣拘シテ屈伸スルコト不能

モノニハ

イニク膏ノ名エントテアルテイヤ 十錢 ラ、リヨカモメリ 五錢

右二味交セ合セ温メ患所ニ塗ルベシ

又方

右三味交セ合シ温メ塗ベシ
ヲ、リヨロザアロム之製法

右ヲ、リヨロニブリコウロム 各等分

右三味交セ合シ温メ塗ベシ

ヲ、リヨロザアロム之製法

野薔薇花 去萼

右ヲ硝子ノ器ニ納ホルトガルノ油一外ヲイレ密封

シ硝子ノ器外ヨリ日乾スルコト五十日取出シ

布ニテ濾シ査ヲ去リ油ヲ用ユ

ヲ、リヨイツヘリコン之製法

枝田草花 去蒂

邦俗劉寄奴ニ
充ル實ハ誤ナリ

康香

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

右油製ノ法前ニ同シ

セロウフヒヨウラス之製法

小槐葉^{コバク}山豆根^{シナヅキ}花^{ハナ} 去蒂

右水ヲヒタクニイレ密封シ鍋ニ湯ヲ沸シ湯ノ

内ニスエ一日程湯煎ニシテ布ニテ濾シ查ヲ去

リ其汁ニ亦別ノコマツナギノ花ヲ入如前又終

日湯煎シ布ニテ濾シ查ヲ去リ其汁ニ蜜ヲ右花

ノ汁一倍ヲ加エ鍋内ニ納微火ニテ煎シ水氣去

ルヲ以テ度トス

メリロガアロム之製法ハ白野薔薇花ト蜜トナリ法

外科用藥圖彙

©Courtesy of the J.S. National Library of Medicine

前ノ如シ

口^{花ノ露}ウスワトトル之製法ハ野薔薇花ヲ^{製油ノ器ノ名}ラニビキニ

テ煎シ用ユ

レシスウイシニ是ハレシス國ヨリ出ル酒ナリ紅

毛人持渡ル味酸性冷ナリ

フラン^{佛即機國ナリ}スウイシニ是ハフランシス國ヨリ出ル酒ナ

リ性味前ニ同シト

ア、クワニキラセシヒライキス之方

シロ^{シロ}穴ル^穴パアブセシテ^ススコルテヨムヘン^ルイトサヒイナ

ホウ^ホリヨムクワ^クニ^レニ^ニスイシスガルナアルム各一握

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

トフフランヒイニヨク醋

水各二碗

膽礬 ハ菱

右一度ニ鍋ニ納煎シ布ニテ濾シ查ヲ去リ木綿
ヲ三重四重ニ疊浸シ疵ニ貼ス此藥テヘンスイ
ブンノ代ニ用金瘡一切ノ跌撲ニ木綿ニ浸レ卷
テヨシ
右輯ル所ノ法論藥方ハ只金瘡一科ノ大旨ヲ舉
ルノ書ナリ今原本ニ從テ校訂ヲ加エ正^ス誤^ラノミ
余ガ家ノ口授秘訣ハ別ニ傳アリ此ニ著ス所ト

外科川慶園書

卷下

©Courtesy of the U.S. National Library of Medicine

大ニ不同此書ハ往昔和蘭人ノ口授スル所ニシ
 テ何人ノ所輯ヲ不知余ガ笥中ニ藏スフト尚シ
 世醫亦珍重ス依テ今余ガ原本ヲ出シテ校正ヲ
 加工梓ニ鏤ルノミ必シモ余ガ家ノ秘授要法ニ
 ハアラス余ガ術ニ左祖スル輩ハ其門ニ入テ授
 ルベシ別ニ一家ノ秘授口訣アリ今此書ニ不著
 ナリ重四重ニ墨寫シ其ニ誤スル處ヲハハシト
 ホ一致ニ隨ニ附録心本ニニ點シ查マテ其ノ本
 數卷ハ年

外科訓蒙圖彙卷之六終

水谷一政

Courtesy of the
 S. National Library
 Medicine

嗣出目錄

瘡瘍之部

外科訓蒙圖彙

膏油製之部并附
紅毛人國語譯

外科訓蒙圖彙

伊良子孝伯先生著
臟志非臟志正誤

浣腸論

本草纂要

明真守素著
孝伯先生校訂

外科秘方

紅毛人著
孝伯先生校正

紅毛人臟腑剝圖

真證



四方購求之人須認此印
為記若無印者皆係偽刻

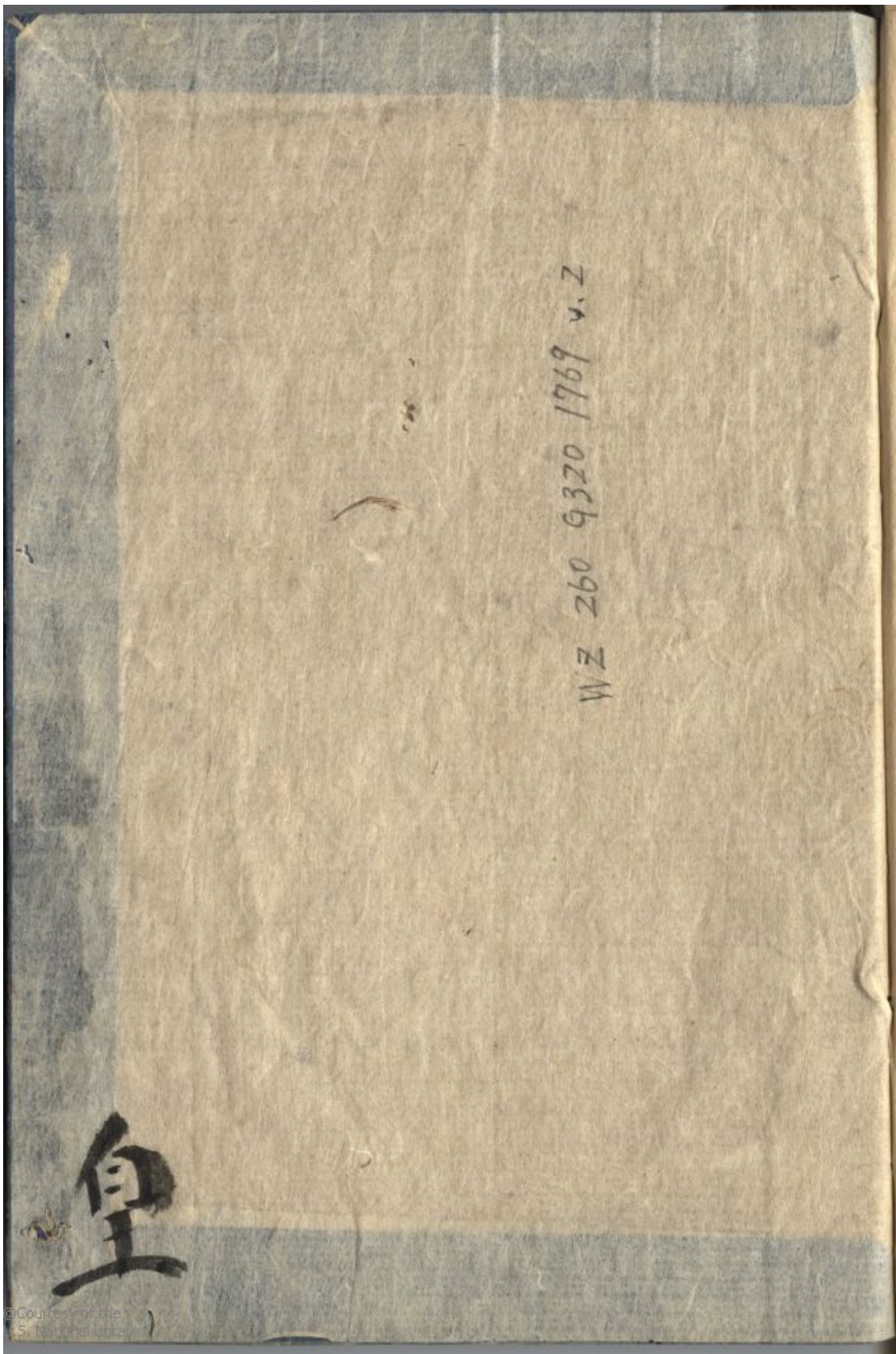
明和六巳丑春三月

二條通麩屋町東工入町

林宗兵衛發行

皇都書肆

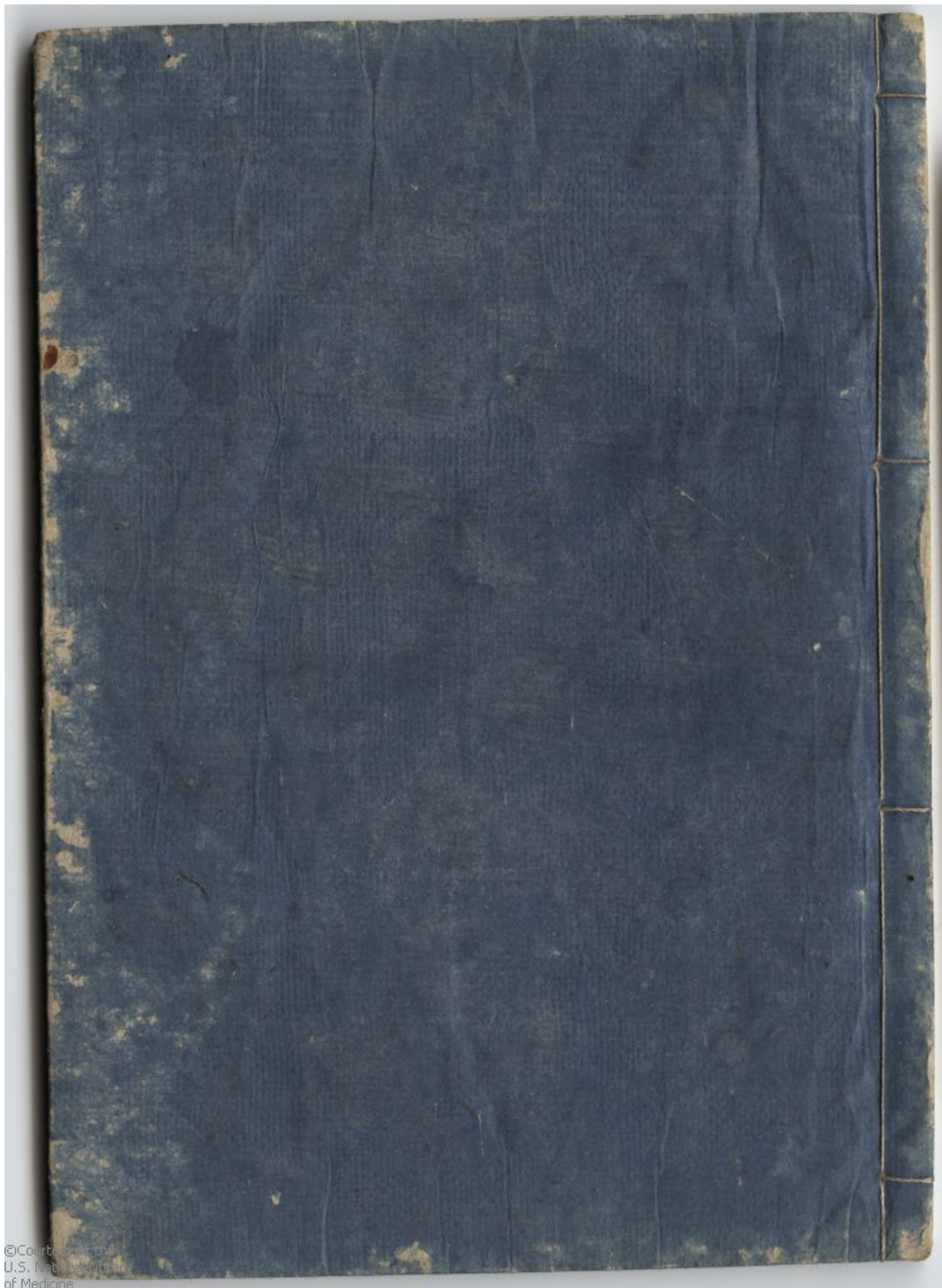
醫士日記



WZ 260 9320 1769 v. 2

皇

©Courtes of the
S. National Univ



©Courtesy of the
U.S. National Library
of Medicine